

まほろば



撮影協力：空撮ボランティア 麻和 博さん(下竹田)

すぐ 優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

山形村社協広報「まほろば」は昭和63年に創刊号を発行し、おかげさまで35年。この度100号を迎えることができました。これからも地域の様々な情報をお届けしていきますので、皆様お楽しみに!

もくじ

- 寄稿／山形村社協の軌跡／タイムスリップクイズ 1～3
- 山形村総合防災訓練 4
- ボランティアグループの紹介 5
- 夏休み子どもひろば／日赤活動資金収納運動結果／普通会員会費納入結果 6
- 山形村福祉のつどいのお知らせ／共同募金のお願い 7



広報「まほろば」は皆様からいただいた社協会費の一部をあてて発行しています。



63年頃▶

おかげさまで発刊 100号

会長 山口 隆也

『社協広報まほろば』は、昭和63年8月に第1号を発行し、今号で100号を迎えることができました。

発行当時の山形村社会福祉協議会は、農業者トレーニングセンター内に事務所を設置し、地域福祉の中心にある住民等による会員組織の発足、住民参加の福祉活動を推進するためのボランティアスクールの開催、通所介護サービスの出発点になるデイケアサービス事業の実施など、現在の基盤となる活動を開始しました。

以来35年間、『社協広報まほろば』は、地域が必要とする福祉サービスを直接担う山形村社会福祉協議会の活動を伝えてまいりました。

今日、少子・高齢社会の進行で生活様式、家族構成など、地域をとりまく環境が大きく変化している中で、「誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現」をめざして地域福祉事業を推進する、山形村社会福祉協議会の活動をわかりやすくお伝えするために、より良い広報誌をめざしてまいります。



いちいの里すばる



いちいの里

| 令和5年 | 令和4年 | 令和元年 | 平成31年 | 平成30年 | 平成28年 | 平成27年 | 平成25年 | 平成24年 | 平成23年 | 平成20年 | 平成18年 | 平成14年 | 平成13年 | 平成12年 |
|------------------|------------------------|--------------------|--|--|-------------------------------------|------------------|---------------------|-------------|--|----------------|------------------|--------------|-------------------------------------|-------------|
| 10月 | 3月 | 12月 | 6月 | 4月 | 3月 | 4月 | 3月 | 4月 | 3月 | 7月 | 4月 | 4月 | 9月 | 4月 |
| 社協広報「まほろば」100号発刊 | コミュニティハウス建部の里介護保険事業を廃止 | 社会福祉法人設立30周年記念行事催行 | 信州パーソナルサポート事業（生活困窮家庭の子どもに対する学習支援）の業務委託 | 山形村生活支援・介護予防体制整備事業運営受託開始 日常生活自立支援事業の業務体制強化／準基幹社協として運営開始 | 災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定 ※山形村・山形村社協間 | 障害児通所支援事業所すばるの開所 | 障害者生活サポートセンターすばるの開所 | いちいの里すばるの竣功 | 有償在宅福祉サービス「たのみま処」の開設 ※義援金・物資の受付 被災地への職員派遣、バスパック | 「たてべ子どもひろば」の開催 | 地域ふれあい交流イベント等の始動 | 地域福祉推進委員会の設置 | 保健福祉センターいちいの里に事務局移転 ※各名称を「いちいの里」に改称 | まほろばカレッジの開設 |



63年頃▶

まほろば 100号によせて

第4代会長 逢澤 佳丸

『社協広報まほろば』100号発刊おめでとうございます。

私は平成20年山形村社会福祉協議会の組織・機構の大規模な改革を行った際、それまでは村長が兼務していた会長職を民間から選出する初代の会長であります。評議員・理事を長年経験してきましたが、専門的な難しい内容が多く、関係各位に迷惑をおかけした4年間でした。

思い返せば『コミュニティハウス建部の里』の開所、地域ふれあい交流イベントとして古今亭菊生（現：三代目古今亭圓菊）師匠をお招きしての落語会、子どもたちのふるさと学習としての『子どもひろば』、ボランティア活動発表会も立ち上げました。さらに地域福祉発展のため、松本大学・松本倉庫（株）と三者協定を結んできました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興支援で数回にわたりボランティアバスパックを実施し、多数の村民の方々が参加してくださいました。この活動も他市町村に先駆けたもので、有志の方々が今も各種の形態で支援活動を継続されていることに敬意を表します。

思いつくままに書き連ねましたが、山形村社会福祉協議会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

| 昭和63年 | 昭和64年 | 平成3年 | 平成6年 | 平成7年 | 平成8年 | 平成9年 | 平成10年 |
|--------------------|------------------|-------------------|--------------------|-----------------------------|------------------|-------------------|------------------|
| 7月 | 6月 | 7月 | 5月 | 6月 | 6月 | 10月 | 6月 |
| トレーニングセンター内に事務局を設置 | デイケアサービス事業の開設 | デイサービス事業（受託）の運営開始 | ふれあいの館に事務局を移転 | ふれあい児童館事業・ふれあいの館管理運営事業の受託運営 | ポケットハイキングサービスの開始 | ふれあい・いきいきサロン事業の開始 | ホームヘルプサービス（受託）開始 |
| 社会福祉大会の開催 | ※のちにデイサービス事業へと継承 | ※のちの「福祉のつどい」 | ボランティアセンターの設置・運営開始 | | | | |

■社協の軌跡

タイムスリップクイズ!

創刊号発行当時(昭和63年)の写真がこの100号の中に載っているのので、下の写真の中から同じ人を見つけよう! 答えは7ページ!

| | | |
|--|---|---|
|  |  |  |
| 関口毅 | 芝山愛子 | 藤岡麻美 |
|  |  |  |
| 入山朋子 | 中畑沙織 | 前田圭吾 |



63年頃▶

『社協広報まほろば』 発刊100号に寄せて

副会長 小林 司

皆さま、いつも『社協広報まほろば』を読んでくださり、ありがとうございます。広報の発信に携わった経験を有する一人として、この度、発刊100号を迎えることができましたことは誠に嬉しく、ここに、今まで支えてくださった全ての方々に心から感謝を申し上げる次第です。

広報名称の「まほろば」は、「優(すぐ)れた良い場所」を意味する「古語」であります。山形村は、「優れた、より良い福祉コミュニティをめざすべきである」との想いをもって、命名されました。以来、「まほろば」を「理想郷」として掲げ、社会福祉協議会の機関誌として福祉情報を発信し、地域と人の絆を結び歩んできました。その時どきの地域のいとなみや人々の温かなエピソード、そして様々な活動が、その当事者の愛情や熱意が詰まったままに伝えられるよう創意工夫をして、編集・発行をしてまいりました。

これからも、社会福祉協議会の「愛称」である「ふれあいネットワーク」を併せ掲げながら、『社協広報まほろば』は、地域福祉の発展と成長を願い、読者の皆さまに価値ある情報をお届けできますよう努めてまいります。地域の方々の声や活動を大切に、より身近な存在として寄り添っていきます。

発刊100号は一つの通過点に過ぎませんが、「まほろば」/「理想郷」を夢見ながら、さらに皆さまと共に歩いていく所存であります。これからも『社協広報まほろば』の「場」に参加いただき、またお楽しみください。 再拝



創刊号

タイムスリップクイズ! 私は誰でしょう?

第1問



今日は
おすまし♥

第2問



祭りだ!
「ワッショイ!」

第3問



はじめての
ひな祭り♪



山形村総合防災訓練

～地域のつながりを深めよう～



9月3日(日)午前9時から、村内6地区で山形村総合防災訓練が行われました。安否確認後、区ごとに思考を凝らして消火訓練や非常食の試食、災害備品の展示などが行われました。

小坂区は長野市社会福祉協議会 小野貴規氏、上竹田区は長野県社会福祉協議会 山崎博之氏を講師に迎え、「地域とともに、ボランティアの活躍と災害ボランティアセンターの役割について」というテーマにて、学びを深めました。長野市にて発災した台風第19号災害にて被災された当事者の方の声をまとめた動画の視聴や、被災状況、災害ボランティアセン

ター運営の様子について講義いただきました。

中大池区は、日本防災士会長野県支部長 大久保隆志氏を講師に迎え、防災の基本から学び直しました。隣近所の平時からの気かけ合いの大切さ、災害時住民支え合いマップの必要性についても触れられました。

下大池区では子どもたちも参加できる放水訓練を企画し、区長からは「このような行事を通じて地域のつながりを深めていきたい」と、熱いお言葉をいただきました。

上竹田区



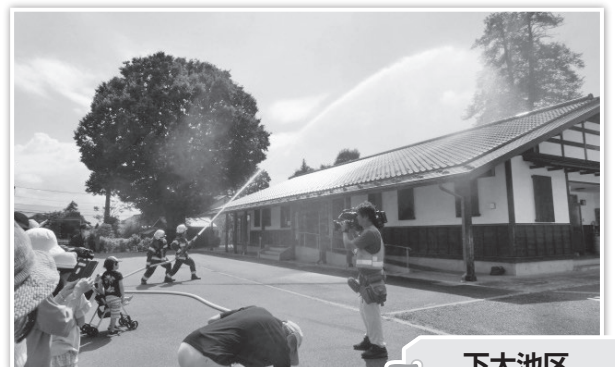
下竹田区

小坂区



上大池区

中大池区



下大池区

ボランティアグループの紹介

おはなしの会

代表：古畑美どり



- 活動期間：約30年
- 会員数：10名

- 主な活動内容：児童館での読み聞かせ（月1回）
秋のナイトライブラリー（年2回）



「ろうそくに火を灯すと、おはなしがはじまります」

いつもこの言葉から、私たちおはなしの会のお話が始まります。

おはなしの世界にいざなう、おはなしに集中してもらおうということからろうそくに火を灯しています。

おはなしの会は、児童館での読み聞かせ（現在は1年生のみの読み聞かせ）、閉館後の図書館内での秋のナイトライブラリー（小学生以上～大人向け）が主

な活動です。おはなしの内容としては、語り・絵本・紙芝居・朗読・講談と幅広く、会員それぞれが得意な分野で活動しています。それもそのはず、会員は20代から70代まで、職業も塾の先生、元YCSアナウンサー、元声優、農家、手芸教室の先生、劇団員、会社員、パート主婦、と、個性豊かな経験を持ったメンバーがいるのも、おはなしの幅が広がる一因なので、は……と思います。



おはなしの会のモットーは、その時を聞き手も読み手も楽しく過ごすことです。おはなしを一緒に過ごし楽しんでいただけることは、私たちにとってもキラキラと輝ける時間で、毎日が緊張ですが有意義な時間をいただけていると、感謝しています。

今後の活動としては、朝日村図書館創立100周年に、おはなしの会としてナイトライブラリー参加のお誘いがありました。村外での活動は初めてですが、このように活動範囲が広がり嬉しいです。

おはなしの会では、随時メンバーを募集しています。読み聞かせの経験がなくても、興味があったりやってみたく思う方はぜひ一緒に活動してみませんか？

お問い合わせ 山形村ボランティアセンター 0263-97-2102

夏休み 子どもひろば



今年の夏休み子どもひろばは、3日間で100人を超える小学生が参加し、コロナ禍前に戻ったように賑やかでした。

8月4日(金)は家族参加OK! これは、山形村の環境問題や各団体の取り組みを知っていただく機会をつくりたいと、『山形村みどりと環境を守る会』をはじめ『山形村赤十字奉仕団』『自然保護集団アクアの会』『山形村教育委員会』『山形村公民館』と山形村社会福祉協議会の6団体協働により実現しました。農業体験を主軸に様々な活動を行っており、子どもひろばに合わせて、野菜収穫と炊き出し、みんなで作った花文字花壇のお披露目会を行いました。設置された展望台から花壇眺めると…『山形149th』の花文字が浮き上がり「すごい!」と子どもたちの歓声が沸き上がりました。

今回は新中学1年生が3名もボランティアとして活躍してくれました! 昨年まで参加者だった子どもたちの逞しい姿と「また春休みも来るね!」との嬉しい言葉に、今後の子どもひろばが楽しみになるばかりです。



令和5年度 日本赤十字社長野県支部山形村分区 活動資金収納運動結果

赤十字の活動資金にご協力をいただきありがとうございました。
全額を日本赤十字社長野県支部へ送金いたしました。

令和5年10月20日現在 **総合計 408,978円**



令和5年度 山形村社会福祉協議会 普通会员会費納入結果

令和5年度の山形村社会福祉協議会普通会员会費の納入につきましては、本年度から募集方法を変えて実施いたしました。
会員の皆さまからのあたたかいご協力ありがとうございました。
地域福祉活動推進のために有効に活用させていただきます。

令和5年10月20日現在 **合計 471件 473,000円**

タイムスリップクイズ! 私は誰でしょう?

第4問



落ちそうな
ホッパでしょ?

第5問



いつもの
散歩道!

第6問



笑顔で
パシャリ☆

山形村 福祉のつどい

を開催します！



新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となっていたが、3年ぶりに山形村福祉のつどいを開催します。人との交流が抑えられていた期間があったことにより、今までは当たり前であった対面で会えることに喜びを感じるようになりました。日頃から山形村社会福祉協議会を支えてくださっている住民の方々との日常の繋がりに対して感謝の気持ちを込め、『いつもありがとう』をテーマとしました。

今年は、レクリエーション体験や季節の壁面飾りづくりの参加型ブースもご用意しております。ぜひ皆さんお誘い合わせの上、ご来場ください！

- 日時** 令和5年12月9日(土) 午後1時30分～(予定)
- 場所** 山形村社会福祉協議会 デイサービスセンターいちいの里内
- 内容** 作業所販売、岩手県物産店、バザー、来場者参加企画など

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい共同募金

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします



今年度も10月1日～12月31日までの期間、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されます。「山形村をよくするしくみ」として、皆さまのご寄付が村内のボランティアや社会福祉協議会の活動など、今ある公的制度やサービスで解決できない「小さな困ったこと」への支援活動を支えています。

募金方法

社協窓口 山形村社会福祉協議会事務局までお越しください。(山形村保健福祉センター内)
〔窓口受付期間〕 令和5年10月2日(月)～11月2日(木)
午前8時30分～午後5時30分
※土曜日を除き、祝・日曜日も受付いたします

銀行窓口 村内の「松本ハイランド農協」「郵便局」「松本信用金庫」各店舗に専用の振込用紙を置かせていただいております。

ネット募金 右記、QRコードをご活用ください。……………▶



タイムスリップクイズ! 答え

- 第1問…藤岡麻美
- 第2問…前田圭吾
- 第3問…芝山愛子
- 第4問…中畑沙織
- 第5問…入山朋子
- 第6問…関口 毅

まほろば (社協広報/第100号) 令和5年10月26日発行 ……………

発行所

社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (山形村保健福祉センターいちいの里内)
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1
TEL ● 0263(97)2102 FAX ● 0263(97)2108 URL ● <https://poponet-yamagata.or.jp/>

「まほろば」に載せきれなかった記事については、ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください▶



この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。